令和３年２月　発地別延べ宿泊者数割合

【国内】

（単位：人泊、%）

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和２年２月（速速報値）	51,562	81,300	46,932	7,451	22,483	32,023	13,855	50,619	4,143	310,368
令和３年２月（速速報値）	27,415	38,347	17,429	2,009	5,298	9,650	4,641	15,835	1,247	121,871
前年同月比	**53.2**	**47.2**	**37.1**	**27.0**	**23.6**	**30.1**	**33.5**	**31.3**	**30.1**	**39.3**

（単位：人泊、%）

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和３年１月（速速報値）	24,753	42,486	21,234	1,796	5,991	8,604	3,989	13,854	1,439	124,146
令和３年２月（速速報値）	27,415	38,347	17,429	2,009	5,298	9,650	4,641	15,835	1,247	121,871
前月比	**110.8**	**90.3**	**82.1**	**111.9**	**88.4**	**112.2**	**116.3**	**114.3**	**86.7**	**98.2**

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和２年２月（速速報値）	5,397	1,833	4,478	6,442	1,020	2,115	1,412	22,697
令和３年２月（速速報値）	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	853
国・地域別シェア	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	100.0
前年同月比	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**3.8**

＊発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

（単位：人泊、%）

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和３年１月（速速報値）	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	1,553
令和３年２月（速速報値）	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	853
国・地域別シェア	＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊	100.0
前月比	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**＊**	**54.9**

【全体】

	合計
令和２年２月（速速報値）	333,065
令和３年２月（速速報値）	122,724
前年同月比	**36.8**

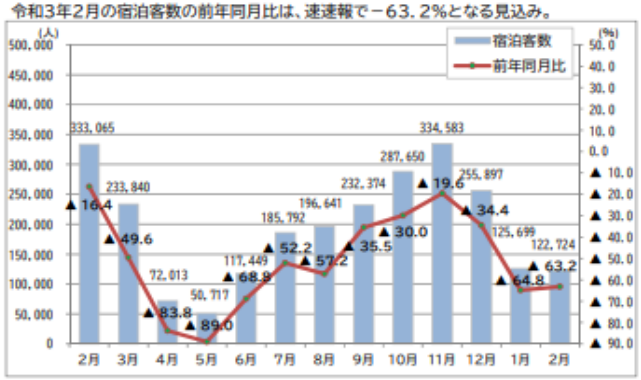
※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。
この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

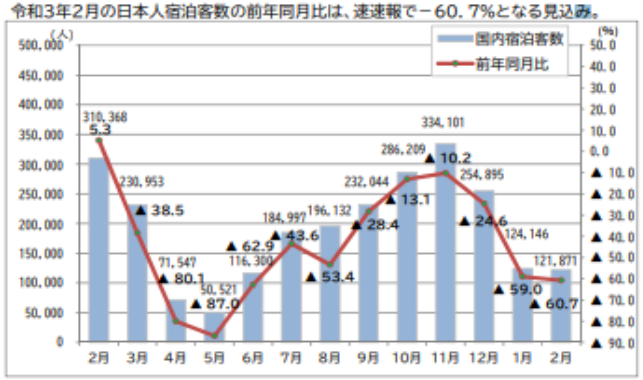
＜傾向・分析＞
・国内の延べ宿泊者数は前年同月比39.3%。また、前月比98.2%。新型コロナウイルス感染者が多い事とGoToトラベル一時停止、10都府県で緊急事態宣言延長等が要因と考えられる。
・国外の延べ宿泊者数は前年同月比の3.8%となっている。新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの国で海外渡航制限等の措置が継続中。
・全体の延べ宿泊者数は前年同月比の36.8%となっている。

令和3年2月の宿泊客等の動向
（令和2年2月～12月速速報、令和3年1月～2月速速報）

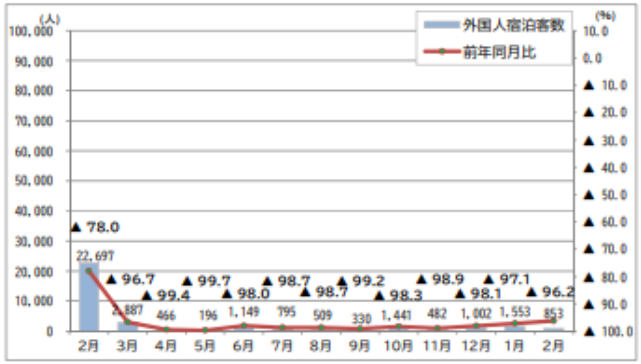
（1）宿泊客の動向
令和3年2月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で－63．2%となる見込み。



（1）－①日本人宿泊客の動向
令和3年2月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で－60．7%となる見込み。

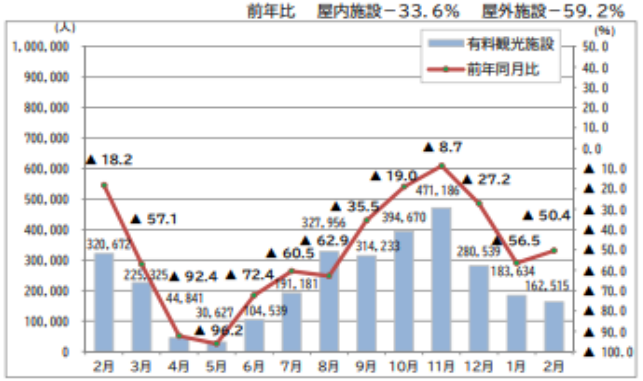


（1）－②外国人宿泊客の動向
令和3年2月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で－96．2%となる見込み。



※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設（186施設）に変更しました。
この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

（2）有料観光施設（入場客）の動向
令和3年2月の有料観光施設（入場客）の前年同月比は、速速報で－50．4%となる見込み。
（調査対象施設30施設）
前年比　屋内施設－33．6%　屋外施設－59．2%



※観光施設の対前年比は、休廃業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

＜傾向・分析＞
・日本人宿泊客は、令和2年3月に政府による臨時休校要請に伴う休校等が実施され、旅行機運も低下。4月には全国で緊急事態宣言発令、5月まで継続された。
結果、5月は前年比13.0%と最小を示した。その後、上昇に転じるも、お盆休みの時期における帰省や旅行を控えたこと等により、8月は前年比46.6%と再び減少した。
その後、11月が前年比89.8%まで増加したが、12月に新型コロナウイルス感染者の増加と、GoToトラベル一時停止、令和3年1月は加えて一部都府県で緊急事態宣言発令で減少に転じ、緊急事態宣言が延長となったことで2月も1月と同じ水準となった。
・外国人宿泊客は、令和2年1月に前年比58.3%と大きく減少。2月、3月も減少し、4月以降観光目的の宿泊客数はほぼゼロとなり、令和3年2月まで続いている。
・全体においては、インバウンドの回復がない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。